工業部会通信

相模原商工会議所
工業部会発行
編集
かながわ経済新聞社
代表：千葉龍太
〒252-0239
相模原市中央区中央3-12-3
TEL：042（851）2021
プリントしてご自由にお読み下さい。

かながわ経済新聞 KANAKEI

あいさつする河野会長

相模原市青年工業経営研究会

河野新体制が始動

15年度の統一テーマ「選択と集中」掲げる

42歳以下の若手経営者で構成される、相模原市青年工業経営研究会（青工研）の今年度の新体制が発足した。10日に市立産業会館（中央区中央）で開かれた通常総会で新体制が承認された。また、同日には懇親会も催され、市内産業界や関係者80人以上が出席。かつて青工研で学んだ経験のある工業部会所属企業の経営者をはじめ、小星敏行副市長、杉岡芳樹会頭なども会場に駆けつけ、祝辞を述べた。

通常総会・懇親会

青工研は原則42歳以下の現役経営者、経営者候補で組織される商工会議所の下部組織。会員企業が青工研での活動を通じ、経営者としての成長や自社の経済的地位の向上につなげることなどを目標としている。

同会の出身企業は150社にのぼる。会員企業やOB企業は、強い結束力を持っているとされており、こうした工業団体は、県内でも珍しい存在という。

10日に開かれた通常総会では、会員ほぼ全員が参加。昨年度の渡邊将文会長での活動を振り返るとともに、新年度の活動方針などを説明。会員からは多数質問も寄せられ、白熱した総会となった。

新年度は河野崇会長（河野製作所社長）を筆頭に、鈴木道雄氏（永進テクノ社長）、横江利夫氏（旭フォークリフト社長）の両氏が副会長、監事には大塚正浩氏（大塚鉄工所社長）、古川弘司氏（ファクター社長）が務める。

また、会員拡大理事には稲場純氏（リガルジョイント社長）、渉外理事は大峰英一氏（タイホー社長）、財務理事に新海肇氏（新海製作所社長）。

担当理事には酒巻利光氏（テクノフロンテ社長）、原田真弥氏（原田製作所社長）、中村勝彦氏（中村電機社長）、馬本伸行氏（日本テクノ取締役）が担当する。

河野会長は今年度の統一テーマ・スローガンに「選択と集中～経営環境の変化に対応しろ～」を掲げた。

河野会長はあいさつで「5年後の東京五輪開催を控えて、好景気が期待されている。しかし、経営環境が激しく変化する時代の中で我々中小企業にとってはまだまだ厳しい環境が続いている。油断していると自社や業界自体がなくなってしまう状況も起きている」と中小企業の現状について触れた。

その上で「経営環境の変化が激しい時代の中で、この好景気の波をしっかり捉える為に自らの事業を見つめ直し、強みを選択し、足場を固める事に集中していくことが重要ではないかと思う」と強調していた。

終了後には懇親会も催された。90人以上が出席し、「河野新体制」の門出を祝っていた。

メンバー全員の集合写真

渡邊前会長（左）と河野会長

総会後に行われた懇親会の様子

がんばる中小企業

永進テクノ認定

青工研の会員企業

経済産業省・中小企業庁は、革新的な製品開発や創造的なサービスを行っている「がんばる中小企業・小規模事業者300社」を選定した。

県内からは、泉橋酒造（海老名市）、永進テクノ（相模原市緑区）、エル・シーアプライアンス（横浜市戸塚区）、メーカーズシャツ鎌倉（鎌倉市）の4社が決まった。

永進テクノは青工研の会員企業。米リーマン・ショックを機に脱下請けを進め、自社製品となる工作機械向け浮遊物・浮上油回収装置を開発。国内外での販売を拡大している。

職人がいい、施工がいい、住む人がいい。
そこに 良いまちが生まれる。

まちづくりの職人 久野新一

創業96年
有限会社
トータルハウジング久野

〒252-0246 神奈川県相模原市中央区水郷田名 2-11-26　TEL 042-762-0096　FAX 042-760-0078
フリーダイヤル 0120-61-0096　URL http://www.t-h-kuno.co.jp/